

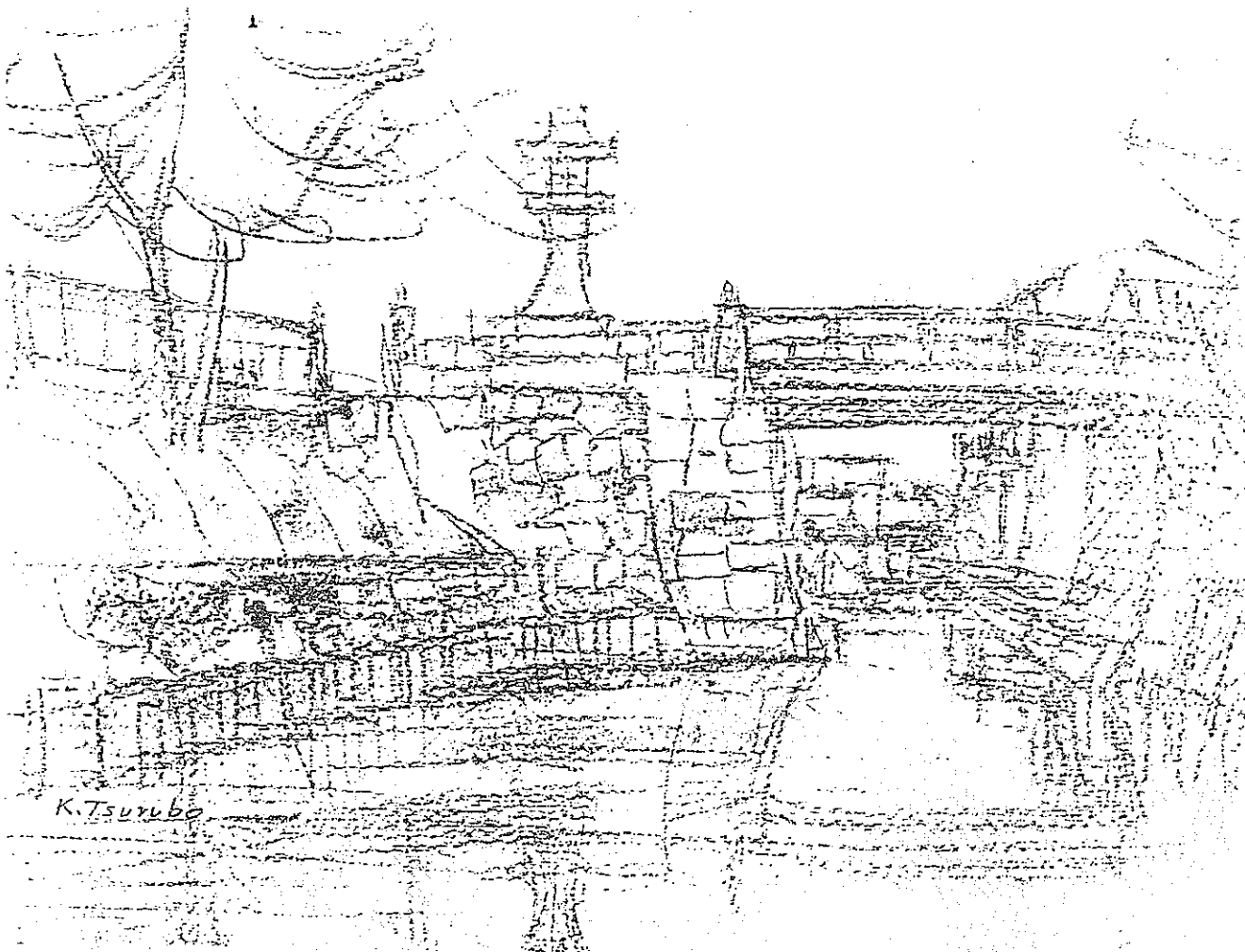
平成8年6月

# あすなろ

発行所  
近江八幡商工会議所婦人会  
住所 近江八幡市桜宮町231-2  
TEL 0748-33-4141

第 4 号

発行責任者  
会 長 村井照子  
編集責任者  
広報委員長 井上和子





村井 照子

『春は名のみの 風の寒さや 谷の鶯 歌は思えど  
時にあらずと声も立てず・・・』

吉丸一昌先生作詞のこの早春賦の書き出しは、春が近づくと何時も思い出す、わたしの大好きな詞です。

今年は、冬が長かっただけに、この詞の様に鶯の声が聞けるのは、おそいかなと思っていたのに、例年より早いくらいに元気な美しい鳴き声を聞かせてくれました。

毎年春になると、朝に夕にホーホケキョーと鳴いてくれるこの鶯 鳴き声がすると急いでそれをたよりに、重いくらいにつぼみをつけた桜の木の枝の間をずうっと目をこらして見渡すのですが、まだ一度も姿を見たことがないので。

桜のつぼみと言えば、今年は本当に沢山花がついて、満開は例年より少しおそい二十日位でした。

バックに桜の花が咲き誇り、その前におそ咲きの紅梅が点在し、その間に連翹が黄色い花をたわ、につけ、そのコントラストの見事さは風流心のないわたしでさえ、うっとり見とれる程でした。

# 私だって、泳げる！

竹山 芳子

五年前の丁度今頃、夕方になると右足がしびれて、お台所にも立てず、買い物にも行けなくて、横になる時間が長くなりました。原因がわからず、無気力な日々を送っていました。レントゲン検査の結果、腰椎のすべり症とわかり、完治は”手術しかない”と言われガックリ。頭の中が真っ白になりました。

テレビやラジオで椎間板の損傷は、背筋や腹筋を鍛えることによってカバー出来ると話しておられましたので、思い切って水泳を始めました。

水泳は、身体が横に浮いていますので、背骨に負担をかけずに運動が出来ます。私の人世に”水泳”という一頁は思いがけない出来事でした。

”男女七才にして席を同じうせず”と教育され、”三歩下がって師の影を踏まず”など身にしみついています。それがあられもない水着姿で狭いコースを老若男女共用。コーチは、”孫”位の年令。顔を水につけると反射的に目をつぶり、息をつめて苦しい事・・・。

あのプール特有の臭い。なまぬるい水の感触。抵抗だらけのスタートでしたが、歩くことも走ることも不安で、

春は、心が浮き立ち大好きな季節です。昨年秋より思いも掛けぬ入院生活で、会員皆様にご迷惑をおかけ致しましたのに、本当に暖かく励ましのご厚情を頂き、お蔭様で今年も大好きな春をたのしませて頂く事が出来ました。

皆様のお蔭と紙面をおかりして心より厚くお礼申し上げます。

当会も七年目、そろそろマンネリ化する時期と案じております。

今までは基礎造り、これからは生成発期、皆々様の英知とパワーを結集して頂いて、当会がますます充実発展して行く様、ご協力賜ります様心からお願い申し上げます。



私に残された運動は”水泳”しか無い、と週一回のレッスンに休まず通いました。毎日の疲れの度合いが運動量のバロメーターです。

クロールの息継ぎが出来なくて、二十五メートル泳ぐのに一年余りかかりましたけれど”継続は力なり”と申しますが、いつの間にか四泳法全部泳げる様になり、距離も少しづつ伸びています。若し、参加することに意義があるのならば、ジャパンマスターズにでも挑みたい！



# 思い出・・・そして今

清水 美恵子

今年はいつになく気候不順で、いつ迄も低い気温が続きます。

最近ふと「結婚して何年たったのかなー」と遠い昔を振り返ることがある。何ひとつわからないまま嫁ぎ、電気工事屋の仕事の下廻りに現場へ行き、主人に品物の名前を聞き返せば怒鳴声と共に物が飛んでくる始末。義母は二十六才にて戦争未亡人、口八丁手八丁おまけに美人。私は、自分のどんくささに腹が立った、情けなかった。実母には十四才で死別し、ただ身体が丈夫と言うだけにとりえの、そんな私を義母はお客さんに「うちの嫁は身体が丈夫で喜んでます。」と、私も同感、何も感じない訳でもなかったが、その通りだった。義母からは色々なことを教わった。商売のこと・あいさつの仕方・思いやりの心等々、さぞ大変だっただろうと振り返る。

そして今、三人の子供達はそれぞれに結婚し、子供も出来、四人の孫がいます。嫁達から「おばあちゃん」なんて言われると、少し抵抗を感じます・・・自分が自分から「ばあちゃんですよ」と声をかけます。二才三才ともなると私の顔をのぞき込み「ばあちゃんすき」と

## 身体の大切さ

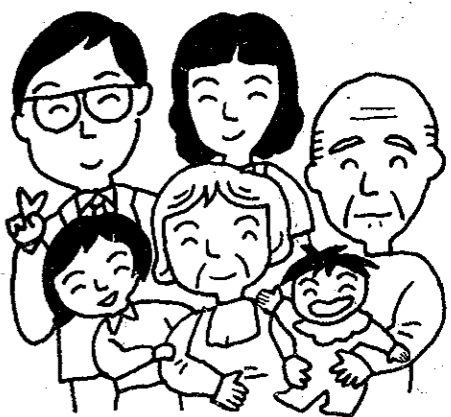
中西 久枝

今年は何年になく、大雪で長かった冬も終わり、若葉が芽を吹く季節となりました。

昨年の五月で、店を始めて十五年目になり、主人が突如病気に倒れ、おもわぬ出来事でどうなる事かと悩み苦しみました。幸い息子が二年前から店の仕事をしていたので、主人の看病をしながら、二人で頑張りました。日が経つにつれ、商売の難しさ、又、得意先に迷惑をかけるようなこと無我夢中でしたが、その中で、商売人にとって病気は大敵だと心に痛感しました。

健康でいると言うことは、とても素晴らしいことです。健康に関するさまざまな毎日の自己管理の必要性を理解し、実行しなければなりません。

そこで必要なことは、適正な分量の食事を摂り、なおかつ適度なスポーツを楽しむことで、自己管理を実践し、希望と情熱を持って人生を送るようにしたいものです。今年、家族みんなが元気で商売に励んでおります。私も今年出来る限り婦人会の活動に参加させていたたこうと思っています。



言われ、私もニコッ、本当に可愛い。

私は毎日の生活の中で、良いか悪いか嫁達には気を使わない・使わせない、自然に・・・又最初に言った言葉は「普段の生活（二人）に入り込まない。その代わり目に余る事があればはっきり物言うわ」・・・と。

人は皆色々な性格を持って生きています。だから自分の思い通りには出来ない部分が沢山あります。頭で理解出来ても心で許せない事だってある。でも受け止め方次第、気持ちの持ち方次第と思う。一生一度の人生。もう決して若くはならない身体。気持ちのうえでは四十代。自分を大切に、又可愛らしい年寄りになりたい。

えーもう老化の時期に入って来たのかなー。いやだわ、まだまだ若いのよ・・・と自問自答

そして今私は幸せ



花には人間のような  
かけひきがないからいい

ただ咲いて

ただ散って

ゆくからいい

ただになれない  
人間のわたし

おつを

# 私の一人思いより

脇坂 高子

今秋、長女が結婚することが決まり、一緒に生活出来る日も残り少なくなってきました。二十三才で嫁ぐ娘で、早くもなく、遅くもなくと自分に言い聞かせてはいられないもの、やはり惜しいもので、心寂しい思いです。パージョンロードを腕を組み、エスコートする主人の顔も、嬉しそうで、てれくさそうな、そのくせ寂しさで涙もろい主人なので今から想像がつかます。



# 武田イクさんの講演を聞いて

井上 美江

四月二十四日(私と鉄矢)「武田イクの子育て奮闘記」の講演を聞きに行きました。大正八年生まれとおっしゃいましたが、とてもそんなお年に見えず、カクシヤクとしておられ、自分の生きて来た人生を話して下さいました。八才の時に両親の離婚を皮切りに、つらい事、悲しい事などたくさんあっても、その苦勞をもとせせず、たくましく生きて来られたことなどをユーモアをまじえてのお話で、大変感銘を受けました。本当にすごいと言うか、バイタリテイに富んでおられると言うか、ただただ感心して聞き入っていました。最後に自分の心に持っている言葉は「己に勝つ」と言う事だとおっしゃり、私もおそまきながら、これからの人生を少しでも人のために役立てて行くようにと心掛けて、一日一日を大切に暮らして行きたいと思えます。



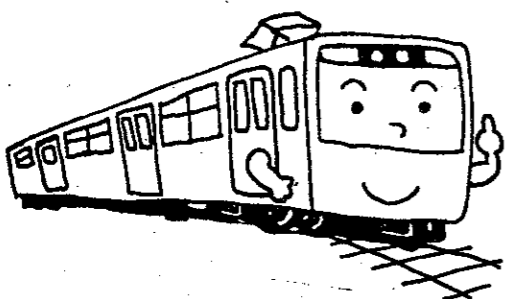
# 車中寸景

古稀を迎えた  
田中 久子

先日JRに乗った時の事です。

おそい時間の通勤列車なのか、混んでは空き、空いては混んでいました。

たしか草津で、たくさん荷物を持った、六〇過ぎの女の人二人が乗ってこられました。一つの座席をめぐって、「あなた荷物が多いで座りいな」「私が若いのにもつたいない。あなた座り」「まあ、よいがな」「すまんな」



私は聞くともなしに聞いていましたが、私の前の窓側の席は、八幡から空席でした。前にはサラリーマン風の三〇位の大きな男の人が、新聞全紙を広げて見ておられましたので、死角になっていたのでしょうか、先程の女の人と眼があつたので、席があることを合図しました。女の人は早速「すまん。おおきに、ありがとう、おおきに」と、心から礼を言って下さいました。何もしていないのに、何て有り難いことかとうれしくなりました。この男の人にもよく似たお母さんがおられるだろうに……

また女の人の会話「あれも一寸、これも一寸と思うていたらこんなにようけになって「ほらほや」「うまい漬物が出来たので、それも持って来たのや」そういえば、たくあんのがいがブーンとしていました。娘さんの喜ぶ顔を浮かべ乍ら、美しいスカーフで荷物を振り分けにして、あゝ、親なればこそと涙が出ました。

“親思う心にまさる親心  
今日の訪れ何ときくらん”

## 新入会員

会員名	事業所名	業種
辻 恵美子	鑑 ツジイチ	内装仕上業
中江 しげ子	中江製作所	電子機器組立
西 あや子	西建設 鑑	建設業
向井 久恵	連合電設 鑑 近江八幡営業所	電気設備工事

## 編集後記

皆様のお力添えを頂き、第四号を無事発行することができました。

それぞれに春の訪れがあり、心模様が描かれ、ほのぼのとした情景や小さな情報です。ほんの少しの「あたたかい」をお届けするのが「あすなろ」の発行だと思っております。忙しい忙しいと言っているお母さんこそ、涙あり感動ありの小さなドラマがいっぱい毎日だと思っています。こんな感激ひとりじめじゃもったいないをチョッピリオすそわけして下さい。

苦しい事、悲しい事、少しでもまぎらわせるなら、わかちあいたいものです。

文章にするのは大変でしょうか・・・！ほんの一行を広報委員会は待っています。最後に「百万馬力をもった、おかあちゃんがいっぱいの婦人会、パンザイ！」と一言

S  
・  
T

